

# 日本の若者の国際競争力<sup>(\*)</sup>を高める「APECプロジェクト」



准教授 清水 義彦

## 研究分野

英語教育、教育学

## 研究内容

目指すのは、「学習者が、できるだけ早期に・どの学校でも・頻繁に・継続的に、生の英語に触れる環境を教室内に作る」ことです。対象は、小学校5年から高校3年。まずは、県内の小・中・高校12校と協働しています。ぜひ一緒に!

## 私の研究のポイント

### ●研究の流れ●

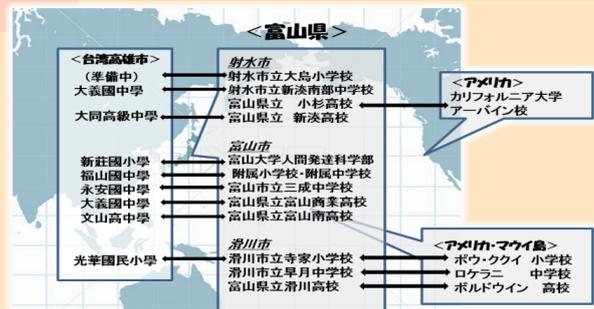
- 1.身近になったタブレットを使って、小・中・高の授業で海外の学校にcall、海外の授業にお邪魔します。
- 2.そして、児童生徒が、生の英語に触れ、教科書での「学びの成果を試す」機会を、教室内に創ります。
- 3.「英語って楽しい!」、「英語って必要!」と、児童生徒のみなさんが体感、気づきの機会となれば成功です!

### ●ゴール●

現場の小・中・高の先生方と1つのチームを組んで、小5→高3までが1本の流れとなり、英語力の素地育成を目指した「8年連続海外交流学習モデル」を開発します。

## REPORT リポート

APECプロジェクト (Asia Pacific Exchange Collaboration project)  
『アジア太平洋海外交流学習プロジェクト』



使用機器



高校での授業風景



交流校の授業風景